



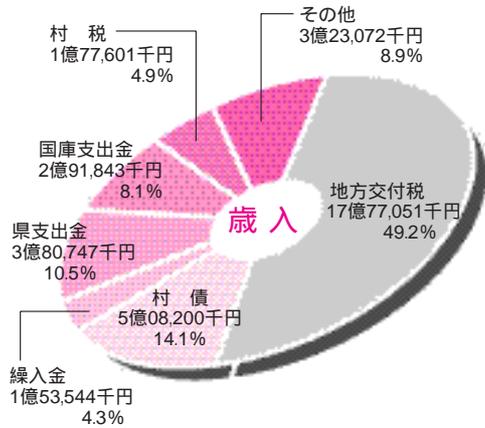
村の台所見てください

12年度末 の 財政状況 (下半期)

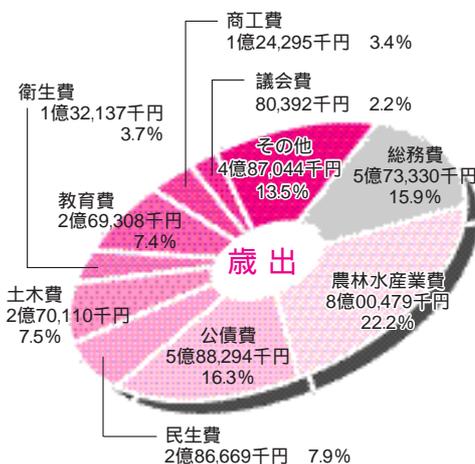
笑顔で未来を開きましょう

一般会計

歳入 36億12,058千円



歳出 36億12,058千円



村の会計には一般会計と特別会計があります。一般会計というのは「議会費」から「公債費」(用語の説明は4ページ表)までの村の基本的な仕事のための

ものです。村の予算は、村民の皆さんの生活を守るために一年間(四月から翌年三月まで)どのようにお金を使うかということとを計画するものです。そのお

の特別会計があります。特別会計は一般会計とは別として経理した方が分かりやすいものを言います。簡単に言うと、その会計ごとの収入で支出を賄うことを基本にした会計です。皆さんの家庭の家計と同じと考えていいと思います。村には国民健康保険や休養施設など六つ

予算、それは村の家計簿

皆さんから正しく納めていただいた税金を無駄なく有効に使うことが村の任務です。村では、厳しい財政状況の中で、村民税や固定資産税などの村税、国から交付される地方交付税や国庫支出金などで予算を組み、基盤整備や福祉の充実など、皆さんの生活向上、快適環境づくりに全力を注いでいます。十二年度、村の予算がどのように使われてきたのか、そのことを知らせることは村として当然のことで、村民の皆さんには当然知る権利があります。「読みたくない」などと言わないで、しっかりと監視の目を向けてください。今月号では平成十三年三月三十一日現在の予算状況(十二年十月一日から十三年三月三十一日=十二年度下半期)をお知らせします。(出納閉鎖は五月三十一日)

金がどのように使われたのか村の家計簿を見ていきましょう。行政では一般的に家庭で言う収入は歳入、支出は歳出と言っています。表の中に出てくる基金は貯金に当たり、村債というのは借金に当たります。お金が足りなくなると、この基金を取り崩したりしながら村の財政を運営していきます。皆さんが急にお金が必要になったとき貯金を下ろして使うのと同じです。